

6. 親子のコミュニケーション編③<子どもを知る>

① 子どもの気持ちに近づくために…

<<ねらい>>

- 自分が親から言われた言葉や日ごろの我が子への言葉かけをふりかえり、子どもの気持ちを考えた言葉かけを考える。

<<準備物>>

- ファシリテータ：ワークシート
- 参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい  子どもは、私たちの言葉をどのように感じているでしょうか？今日は、子どもの時言われた言葉を思い出しながら、子どもがうれしくなったり、やる気になったりする言葉について考えていきましょう。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。		
		2. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	アイスブレイクの例参照	・4人程度のグループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P. 6参照	
展開 (35)	8	4. ワークシートに記入する。 ・子どもを叱るときの状況や言葉  (ワーク1)	4. 日ごろ、お子さんを叱っているときはどんな時ですか。その状況や言っている言葉を思い出して <b>ワーク1</b> に書き出してみましょう。	・「早くしなさい」など具体的な言葉を書くよう伝える。
	8	5. グループで話し合う。 ・子どもが安心する言葉  (ワーク2)	5. 子どもがうれしくなったり、やる気になったりするような言葉を考えて、 <b>ワーク2</b> に記入しましょう。	
	8	6. 2人組で体験する。 ・子どもを叱る言葉 ・子どもが安心する言葉	6. 2人組で叱る言葉と安心する言葉を体験してみましょう。	
	11	7. グループで話し合う。	7. 言われてどうでしたか。感想を話し合しましょう。子どもの心が安心する、落ち着いた言葉を考えてみましょう。	・親と子の役割分担を確認し、ワークシートを交換して体験する。 ・4人グループで話し合う。 ・言い方にも注目させる。
まとめ (15)	5	8. ふりかえり	8. どのような意見が出てきましたか。グループの意見を紹介してください。	・全グループ又は抽出グループで発表する。
	10	9. まとめ  いかがでしたか？言葉にもいやな気持ちになる言葉と嬉しい気持ちになる言葉がありましたね。子どもたちには、やる気が出て元気になる、心がうれしくなる言葉をたくさんかけていきたいものです。		

## ① 子どもの気持ちに近づくために…

私たち保護者は、子どもの心身の健やかな成長を願って、「子どものためによかれと思って」いろいろな言葉をかけています。そんな言葉を子どもはどのように聞いているのでしょうか？あなたが子どもの頃、親から言われてうれしかった言葉や嫌だった言葉を思い出してみましよう。

そして、今あなたが子どもに使っている言葉で、「きっと子どもは嫌だろうなあ」と思われるものを書き出してみましよう。

### ワーク1 あなたが叱るときはどんな時ですか？ どんな言葉を使っていますか？

<場面>



<具体的な言葉>

--	--

--	--

### ワーク2

子どもがうれしくなったり、やる気になったりするよ  
うな言葉に変えて  
みましよう。

--	--

ふりかえり

